

まちのわだい



第36回境地区

身体障害者スポーツ大会

11月19日、身体障害者の明るい社会づくりを目的に、五霞町、境町、古河市（古河支部・総和支部・三和支部）の5つの身体障害者団体による第36回境地区身体障害者スポーツ大会が、中学校グラウンドにおいて開催されました。

大会は、車いす競走やパン食い競走をはじめ、輪投げ、バスケットボール投げ等の個人競技や市町（団体）対抗、綱引き、玉入れ、リレーの団体競技が行われました。

本町は団体競技の総合順位で、みごと準優勝をおさめました。

身体障害者だけでなく、知的障害者の方、中学校・学生ボランティア、体育指導委員、民生委員児童委員など多方面からの協力・支援をいただき、障害者・支援者相互の交流が深められました。



いきいきヘルス体操講習会が

開催されました

11月22日、中央公民館講堂において、茨城県立健康プラザ管理者であり医学博士の大田仁史先生をお招きして、「いきいきヘルス体操」の講習会が行われました。

各老人クラブ会員を中心に、約120名の参加者が、高齢社会の進展の中、なぜ「介護予防」が大切なのか、実技を通して「寝たきり防止」の学習をしました。

参加された方々は、大田先生のユニモアたっぷりの講義と近隣及び町のシルバー体操指導士による実技指導を笑いの中にも真剣に受講し、テーマである介護予防、寝たきり防止について学習をした実りの多い講習会でした。

自主防災組織訓練が

実施されました

11月の最終日曜日、町内全行政区において、自主防災組織の防災訓練が実施されました。

当日は、午前8時30分の防災行政無線によるサイレンを合図として、各行政区において自主防災組織体系及び防災資機材の点検・確認を行いました。

また、川妻自主防災組織が地震災害を想定した避難訓練を実施し、川妻自主防災会長指揮のもと、人員報告訓練や町消防団第1分団の協力による消火訓練を行いました。最後に、避難時の食事を想定し、味噌汁・お粥・ビスケットを試食しました。



女性消防団員による

防火紙芝居が行われました

秋の火災予防週間期間中の11月10日、幼稚園児を対象に女性消防団員による防火紙芝居が行われました。

紙芝居は、主人公であるカブトムシが火の用心について学ぶというお話でした。

園児たちに大人気のカブトムシのお話というだけあって、園児たちは目を輝かせながら熱心に聞き入っていました。

